

EUREKA 〈研究紹介〉	「あすか」で得られた 銀河団の高温プラズマの温度分布	柴田 亮 渡辺 学	161
	銀河団の衝突：宇宙最大の衝突現象	滝沢 元和 内藤 統也	169
天球儀 〈読物〉	国際天文学連合第 46 委員会の改編と今後	磯部 瑋三	176
シリーズ	《海外研究室事情 (16)》 Center for Gravitational Physics and Geometry, The Pennsylvania State University ペンシルバニア州立大学 重力物理と幾何学センター	真貝 寿明	182
追悼文	会津 晃先生を偲んで	田原 博人	184
書評	マンガ手作りの宇宙	有本 淳一	186
寄贈図書リスト			187
月報だより			187

[表紙説明]

X線天文衛星「あすか」による「かみのけ座」銀河団（左図）及び「おとめ座」銀河団（右図）の高温プラズマの温度分布。等高線は、ROSAT衛星による0.5-2.0 keVバンドでのX線表面輝度分布を示す。「かみのけ座」銀河団の北西領域（右上）や「おとめ座」銀河団のM87銀河（●印）とM49銀河（▲印）の中間領域には広がった高温領域が見られる。また、「おとめ座」銀河団の周辺部は温度ムラが中心部に比べて大きいことがわかる。これらの温度構造は、銀河団同士の衝突合体や高温プラズマの重力収縮による加熱によって作られると考えられる。いずれもX線表面輝度からは想像もできない複雑な温度構造が姿を現した。

(EUREKA「あすか」で得られた銀河団の高温プラズマの温度分布 参照)